

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設の名称	宮城県総合運動公園(県サッカー場合)
指定管理者の名称	宮城県スポーツ振興財団・同和興業 ・セントラルスポーツグループ
施設所管部課(室)	教育庁 スポーツ健康課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成18年 4月 ~ 平成21年 3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・同和興業 ・セントラルスポーツグループ	
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・同和興業 ・セントラルスポーツグループ	
平成24年 4月 ~ 平成29年 3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・同和興業 ・セントラルスポーツグループ	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	宮城県スポーツ振興財団・同和興業・セントラルスポーツグループ
	所在地	宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1
指 定 期 間	平成 24年4月 1日 ~ 平成29年3月31日 ( 5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県総合運動公園(グランディ・21)	
所在地	宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1	
設置年月	平成7年 11月	
根拠条例等	県立都市公園条例, 総合運動場条例	
設置目的	スポーツの振興を図り, もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため	
施設の内容	敷地面積	宮城県総合運動公園 約432, 000㎡ 宮城県サッカー場112, 533. 19㎡
	構造	ひとめぼれスタジアム宮城: 鉄骨鉄筋コンクリート造6階建, セキスイハイムスーパーアリーナ: メインアリーナ鉄筋コンクリート造6階建, サブアリーナ鉄筋コンクリート造2階建, セントラルスポーツ宮城G21プール: 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建, テニスコート: 全天候型ハードコート, 合宿所: 鉄筋コンクリート造3階建, みやぎ生協めぐみ野サッカー場: 鉄筋コンクリート造3階建
	内容	第1種公認陸上競技場, 第3種公認陸上競技場(補助競技場), 第3種公認投擲場, セキスイハイムスーパーアリーナ(メイン・サブ), 日水連公認プール(長水路, 短水路, 飛込), テニスコート, 合宿所サッカー場(自然芝2面, 人工芝1面)
開館(所)日	○年未年始(12/29~翌1/3日迄)及び毎月1,3,5月曜(休館日)を除く毎日	
開館(所)時間	午前9時00分~午後9時00分(プール: 午前10時00分~午後8時00分)/日・祝日午前9時~午後5時	
指定管理者が行う業務の範囲	1 本施設の管理運営業務 2 本施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の徴収に関する業務 3 本施設の利用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 本施設(宮城県サッカー場を除く)の行為許可に関する業務 5 本施設及び付随施設の機械設備の操作・日常点検業務 6 本施設及び付随施設の施設・設備, 物品及び敷地の維持管理業務 7 その他の施設の管理運営業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利用料金制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	施設利用料金, 行為許可利用料金

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
開館(所)日数	343 日	340 日	348 日	101.5%	102.4%
延べ利用者数	1,150,000 人	1,259,639 人	1,421,703 人	123.6%	112.9%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
宮城スタジアム	247,000 人	183,352 人	424,185 人	171.7%	231.4%
総合体育館	433,000 人	428,692 人	474,539 人	109.6%	110.7%
総合プール	125,000 人	106,945 人	106,643 人	85.3%	99.7%
テニスコート	10,000 人	10,979 人	10,968 人	109.7%	99.9%
合宿所	13,000 人	13,887 人	16,646 人	128.0%	119.9%
サッカー場	55,000 人	44,453 人	34,663 人	63.0%	78.0%
公園来場者(無料観客・見学・公園)	267,000 人	471,331 人	729,390 人	273.2%	154.8%
合 計	1,150,000 人	1,259,639 人	1,797,034 人	156.3%	142.7%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	576,886	565,714	576,886	100.0%	102.0%
利用料金収入	248,339	278,520	399,743	161.0%	143.5%
その他	76,351	57,752	61,638	80.7%	106.7%
収入計 (a)	901,576	901,986	1,038,267	115.2%	115.1%

(2) 支出

人件費	103,128	105,024	113,669	110.2%	108.2%
施設管理費	730,383	722,457	710,780	97.3%	98.4%
事業運営費	59,600	55,379	158,940	266.7%	287.0%
その他	8,465	13,211	23,307	275.3%	176.4%
支出計 (b)	901,576	896,071	1,006,696	111.7%	112.3%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	5,915	31,571	—	—
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	<p>【人員配置】 総務部、事業推進部、サービス向上グループ、施設管理グループの4グループ制を導入し、効率的な管理体制をとった。</p> <p>【職員研修】 ・職員に専門性を持たせるため施設管理に関する資格取得を推進した。 ・職場内研修を実施した。</p>		<p>○グループ制度による適切な業務分担により、効率的な管理運営体制とすることができた。</p> <p>○年間を通じて計画的に職員研修を実施し、施設の管理運営に係る職員の資質向上を図り、利用者サービスの向上を図ることができた。</p>		A	<p>適切な人員配置や、各種研修会の実施により、効果的な管理運営体制が図られている。また、施設管理に関する資格取得を推進し、職員の資質向上に努めている。</p>	A
人員体制	正規	22人	非正規	9人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>○定期・法定点検に加え、施設管理グループ職員による日常的保守点検を実施し、設備の保全を図った。</p> <p>○指定管理料に含まれる15,000千円を超える修繕を実施し、施設及び利用者の安全を担保した。</p> <p>○利用者サービスを低下させることなく、機能保全を図った。</p> <p>○光熱費の使用量削減や照明機器のLED化等の推進し、省エネルギー化に取り組んだ。</p>		<p>○施設管理グループ職員による日常的な保守管理により、施設全体の経年劣化状況を把握し、施設・設備の不具合の早期発見・早期対応に努めることができた。</p> <p>○施設の劣化・不具合状況等の現状について、その都度県に迅速に報告・相談し、情報の共有を図ることができた。</p> <p>○緊急性の高い修繕等については、県と協議の上、指定管理者において実施し、利用者サービスを低下させないように取り組んだ。</p>		S	<p>日常的な保守点検、軽微な修繕及び緊急性の高い修繕については、迅速に対応した。</p> <p>また、照明のLED化等により維持経費削減にも努めた。</p>	S
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<p>○県民向け会員制事業(フィットネス&amp;レスン等)を実施し、生涯スポーツの普及振興に努めた。</p> <p>○幼児及び小学校低学年を対象としたキッズ体育教室を開催し、子どもの健康な体力づくりと体力・運動能力向上の推進を図った。</p> <p>○新たにシニア運動教室を開講し、高齢者の健康長寿の推進を図った。</p>		<p>○各種事業の参加者数が順調に増加し、県民の日常的な運動機会の増加に繋げることができた。</p> <p>○幼児から高齢者までの教室の実施により、生涯にわたるスポーツ活動の機会を提供することができた。</p> <p>○「グランディ・21 周年祭」など、スタジアムでの大規模イベントにより、多くの方にご利用いただくことができた。</p>		S	<p>利用者ニーズを適切に把握した上で各種自主事業を展開することにより、利用者の増加に努め、県施策に協力している。</p>	S
④自主事業の実施	<p>○施設を活用し、下記事業を実施した。</p> <p>①選手・指導者育成・支援事業 ②地域スポーツ支援事業 ③競技会の開催機会提供事業 ④スポーツ環境整備事業 ⑤フィットネス&amp;レスンプログラム</p>		<p>○多様なプログラムを実施し、施設の利活用促進・PRにつながった。</p> <p>左記各種事業に対し、延べ156千人に参加いただいた。</p>		S	<p>競技力向上のため、各種強化事業を開催し、利用者が増加した。また、グランディ・21 周年祭では、県内各地から大勢が来場し好評を博した。</p>	S
⑤利用者サービスの向上	<p>○競技大会等の貸切利用における早朝・深夜時間の利用希望者に対し、柔軟な対応を行った。</p> <p>○マスメディアや専用ホームページを活用し、事業や施設利用等の各種情報提供を行った。</p> <p>○利用者アンケート等による要望・意見等について所内検討し、利用者サービス向上を図った。</p> <p>○経年劣化していたトレーニング機器の更新や、雨天時に水溜りが発生していたA駐車場の一部を舗装化した。</p>		<p>○大会等では通常の利用時間以外の利用希望者が多く、柔軟に対応することで、円滑な大会運営に寄与することができた。</p> <p>○ホームページを活用して施設利用状況及び自主事業等について積極的な情報提供を行い、利用者の利便性向上を図ることができた。</p> <p>○利用者の要望やご意見について、迅速かつ適正に対応し、利用者サービスの向上に繋げることができた。</p> <p>○トレーニング機器の更新により安全性を確保するとともに、駐車場の舗装化も併せ、利用者の利便性向上を図ることができた。</p>		S	<p>ホームページで自主事業やイベント開催スケジュール及び施設の利用状況を公開することにより、利用者へのサービス向上を図った。</p> <p>さらに、施設の利用時間の延長についても柔軟に対応している。</p> <p>ハード面でも利用者の利便性向上に工夫が見られる。</p>	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<p>○毎月、施設毎にアンケート調査を実施し、ご意見や要望等については、毎月実施のアンケート検討委員会により検討し、管理運営に反映した。また、対応内容について施設内へ貼り出し、利用者にお知らせした。</p> <p>○各施設窓口において、直接的な要望等の把握に努め、迅速な対応を行った。</p>		<p>○利用者からのご意見・ご要望について、利用者の立場で検討し、管理運営に的所に反映させ、利用者サービス向上を図ることが出来た。</p> <p>【管理運営反映例】 ・フィットネスレッスンのメニューの充実と要望に合わせた開催日時の再設定。 ・トレーニングルーム機器の更新 ・駐車場の一部舗装整備</p>		S	<p>アンケートに加え、各窓口で利用者の意見要望を聞く体制を整えている。毎月アンケート検討委員会を実施し、対応を検討し、回答について毎月掲示している。対応可能な要望については常に迅速に対応している。</p>	A
⑦安全対策	<p>○施設利用において、主催者と安全対策について打合せし注意喚起するとともに、施設・設備の保守管理の徹底や職員の安全教育を実施した。</p> <p>【実施対策】 ・雷雲接近情報提供 ・熱中症予防に関する情報提供 ・食中毒等の防止案内の実施 ・貴重品の保管と盗難への注意喚起 ・監視カメラによる確認及び巡回監視 ・予防修繕の実施 ・防災、避難訓練の実施</p>		<p>○大会等主催者との打合せにおいて、各参加者にも内容を周知徹底していただくように要請し、事故発生の防止に努めた。</p> <p>○大規模イベントを想定した避難訓練を実施し、より実践的な安全対策をとることができた。</p> <p>○左記の各種情報提供及び対策の実施により、利用者の安全を担保することができた。</p>		S	<p>大規模イベントを想定した避難訓練の実施、各種情報の提供など、利用者の安全に十分配慮している。</p>	S
⑧県民の平等利用	<p>○競技大会について、国&gt;地方&gt;県&gt;市町村の優先順位により、年間の利用調整を行った。</p> <p>○イベントについては、年間利用日の10%程度とした。(土・日・祝の日数の30%程度)</p> <p>○県民誰もが利用できる状況とするため、競技大会・イベント等の利用日数を調整し、個人利用日を設け、平等利用に努めた。</p>		<p>○スポーツ利用を中心とし、多様な施設の提供を行うことができた。</p> <p>○ホームページで情報提供を行い、利用予定を一目で確認できるように努めた。</p> <p>○個人利用できる日程を確保し、県民誰もが気軽に利用できる環境整備に努めた。</p> <p>○指定管理者で設定した施設利用の基準により、県民の平等利用に努めることができた。</p>		A	<p>県を代表する総合運動場であることから、各種大会での利用を優先し、年間利用を調整しているが、貸切利用の状況をホームページで公開する等により、個人利用者への配慮がなされている。</p>	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	○指定管理者独自の個人情報保護規定を遵守した。(専用ホームページ上に掲載) ○個人情報は、他の目的に流用しない旨を利用者に周知し、取得した個人情報は書棚を施錠し管理した。 ○施設予約システムは専用回線化とし、パソコンのファイアウォール設定、ウイルス対策の実施やパスワード管理の徹底を行い、私有パソコン・外部記憶装置等の持込み及び指定ソフトウェア以外の使用を禁止した。	○個人情報を扱うパソコン等機器類や管理システムの整備や運用、個人情報保護規程を遵守するよう職員教育を徹底したことで、利用者の個人情報が漏えいすることなく、適正に保護することができた。	A	独自の個人情報保護規定を策定し、情報の漏えい、き損及び滅失の防止に努めた。また、個人情報の取り扱いについてはホームページ上で公開している。	A
⑩利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり	○大規模スタジアムコンサートによる増加だけではなく、各種スポーツ大会や自主事業の参加においても増加しており、前年度と比較して大幅な増加とすることができた。 ○利用者が減少した施設については、輪番制の大規模大会の開催がなかったこと等が要因であり、今後も施設利用の促進に努めていく。	S	大規模スタジアムコンサートの実施、他県からのスポーツ合宿利用者増、自主事業の充実により、利用人数は大幅に増加した。	S
⑪収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり	○事業収入については、大規模スタジアムコンサートの開催やフィットネス等の自主事業による利用料収入の増加により、当初計画より136,691千円増となった。 ○支出については、光熱水費が暖冬による使用量の減や単価安による減があったものの、総合体育館メインアリーナ床面修繕やA駐車場の一部舗装化、トレーニングマシン更新等の実施により、当初計画より105,120千円増となった。 ○収支全体では黒字決算となったが、修繕や備品更新等、利用者の安全確保やサービス向上を図るために利用料収入を充てている。	S	大規模スタジアムコンサート等により、利用料金は大幅に増加した。支出については経費の削減に努めるとともに、増加した利用料収入を使用し、施設運営に必要な修繕及び利用者の利便性向上のための施設整備を実施している。	S
⑫その他の取組	○環境配慮の取組を実施した。(近隣住環境含む) ○職員による地域清掃活動を実施した。 ○大規模スタジアムコンサート等の開催において、主催者だけでなく、地域や警察、消防等関係団体との打合せを実施した。	○ゴミ発生量の削減やエコマーク対象製品の使用及び節電等により環境保全や省エネルギーを推進することができた。 ○周辺地域の清掃活動を行い、職員全体の環境配慮の意識を高めることができた。 ○イベント開催時の交通渋滞や騒音等について、主催者をはじめ、地域や警察、消防等関係団体にご協力いただき、良好な施設の提供とすることができた。また、騒音測定を実施し、音量調整を主催者に要請する等、近隣住環境を配慮した利用とすることができた。	S	環境に配慮した取り組みとして、ごみの発生量の削減、分別処理を行っている。大規模イベント開催時には、関係機関と連携を図りながら、輸送計画・警備計画等の情報を共有し、大きな混乱もなく大会を運営できた。	S
総合評価		○これまでにない大規模スタジアムコンサートの開催があったが、関係機関との連携により、良好な施設運営とすることができ、利用者も大幅な増加となった。 ○各種媒体により施設の情報提供に努め、利用者サービスの向上を図るとともに、施設利用の増加を図ることができた。 ○適切な維持管理業務に努めるとともに、省エネルギーや廃棄物のリサイクル等の各種取り組みを行い、環境配慮の推進を図ることができた。	S	大規模スタジアムコンサートを2件誘致し、関係機関との連携を図りながら大きな混乱もなくイベントを運営したことにより、大幅な収益増加となった。増加した収益で利用者の利便性向上のための施設整備を行った。施設運営に必要な修繕、備品整備を実施するなど、適切な管理運営が行われた。	S

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	施設建設からの経年劣化や競技のルール改正により、施設・設備・備品等の修繕箇所や更新数量が年々増加している。大規模施設であるため、それらの規模も大小様々であるが、計画的かつ平準化した執行となるように、県と情報を共有し取り組んでいく必要がある。 また、平成27年度に開催された大規模スタジアムコンサートのように、今後も関係団体と連携・調整し取り組んでいく必要がある。	大規模修繕工事については、利用者の利便性、安全性をかんがみれば喫緊の課題ととらえている。指定管理者の協力を得ながら、長期的な修繕計画を作成する必要があり、計画的に補修を行っていきたい。 大規模大会やイベント開催時の交通アクセスについては、関係機関との連携により、問題の予防的対応が図られているが、今後も継続して関係機関と協議調整していく必要がある。